※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽という媒体を通して、さらに自分を広く表現し、より良き人間関係の樹立に役立てるようにすることを最大の目標として学習活動を行います。
そのために、歌唱(独唱)・器楽(リコーダー独奏)などの技術を高めてゆき、創作にも取り組みます。その到達度は実技テストでの演奏発表や、授業中に配布するワークシートで評価しますが、日常の授業に臨む姿勢なども重視します。また、学校という場で行う学習活動ですから、自己の研鑽に役立てるため、他者の演奏発表を聴く機会なども大切にします。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。そのために、以下の通り目標を設定する。
（１）歌唱・器楽を演奏するための必要な幅広い音楽的知識と高度な技能を習得する。
（２）聴き手に内容を伝えるための多種多様な表現方法を考える。
（３）定期的に演奏発表、作品発表の機会を多く設け、積極的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽に関する創造的な諸活動を行うための、高度な知識や技能を習得する。	創意工夫を生かした音楽表現をするための、高度な思考力、判断力を身につける。	実際に演奏発表や作品発表を行うにあたり、積極性をもって意欲的、計画的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌唱	＜独唱＞ Ich liebe dich Nel cor piu non mi sento など	a:やや高度な読譜力、外国語歌詞を読む能力、高度な発声技術を習得しているか。 b:多種多様な音楽的表現の工夫をしているか。 c:演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	ワークシートと練習状況によって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
	器楽	＜アルトリコーダー独奏＞ アヴェ・マリア カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲 など 和楽器(箏)の奏法の研究も行う。	a:やや高度な読譜力、アルトリコーダーや箏の演奏技術を習得しているか。 b:多種多様な音楽的表現の工夫をしているか。 c:演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	ワークシートと練習状況によって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
後期	研究発表	各自が設定した分野・曲目により、演奏発表を行う。歌唱・器楽、単独・グループは問わない。	a:自己表現のための演奏発表のための適切な計画をしていること。 b:表現の研究を意欲的に行っていること。 c:そのための演奏技術を身につけるため、意欲的に取り組んでいること。	主にワークシートによって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
	創作	歌曲の創作 完成した作品は自作自演で発表する。	a:自分の作品を制作する意欲を持ち、積極的に取り組んでいること b:自分の意思が作品に生きるように計画されていること。 c:創作のための種々の技術を身につけようとしていること。	ワークシート、日常の取り組みの状況によって評価する。	提出された作品と、その演奏発表によって評価する。	提出作品によって評価する。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度